



# 飛騨っ子



< 通信【飛騨っ子】 >

令和6年6月18日発行 NO3  
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係  
 家庭教育推進専門職 : 水口 悟  
[TEL: 0577-33-1111](tel:0577-33-1111) (内線 235)  
 E-mail : mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

## 広がれ! 飛騨っ子みんなの笑顔

令和6年度 飛騨地区家庭教育学級等リーダー研修会

◇ テーマ 子育ての肯定感を高める家庭教育学級

・ Web 開催 (高山市・白川村) および会場開催 (飛騨市・下呂市)

- ① 3市1村ごとの開催 (地域の特色を活かす)
- ② 効率よい研修 (移動時間の短縮・研修の焦点化)
- \* 参加者は、各園・各校2名を基本

- 参加率 80%  
(R5 83% R4 74%)
- 回答率 90%  
(R5 79% R4 77%)
- \* 全園数:40 全学校数:55

<参考> 開催方法の変化 R1:会場開催(地区一斉) ⇒ R2:中止 ⇒ R3:書面開催 ⇒ R4・R5:Web 開催(3市1村ごと)

今年度、初めて保護者の役員を務めさせていただいています。子どもたちのことを改めて考えられる、自分自身を見直せるキッカケの研修になりました。ふだん慌ただしく生活をしてしまっていて、子どもたちのこともゆっくり考えられる時間がなかったのですが、この研修で家庭教育学級の大切さを学べて良かったです。園の保護者の皆さんにも伝えていきたいと思えます。ありがとうございました。(保育園 保護者の感想より)

### 5月14日 飛騨市 6園5小3中 会場開催



取組のすばらしさを紹介します!(生涯学習課)

### 5月15日 高山市・白川村 27園19小12中・1園1学 WEB 開催

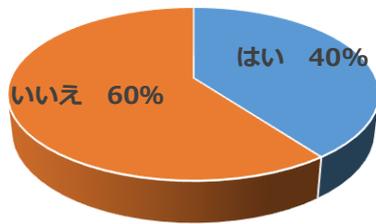
### 5月16日 下呂市 6園9小6中 会場開催



子どもを多くの目で見る・頭で考える・手をかけ育む  
‘チーム家庭’という考えは  
いかがでしょうか?(教育長)

## アンケート（Logo フォームおよび書面）の結果と内容の一部を紹介

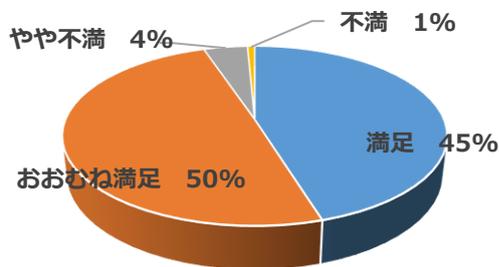
Q1 事前に、県の家庭教育学級リーダー研修会説明動画「みんなで家庭教育」を視聴しましたか。



Q1

- 役員皆さんの引継時期（2～3月）に合わせ、通信【飛騨っ子】にてお知らせしています。
- ① 県の説明動画（県 Youtube）を配信  
\* 3月～5月：オンデマンド配信
- ② 引継パック 1, 2, 3 (家庭教育学級とは? 等) を配信  
\* 飛騨県事務所 HP に引継パック 1, 2, 3 を UP

Q2 これからの家庭教育学級を推進していく上で、本日の研修内容はいかがでしたか。

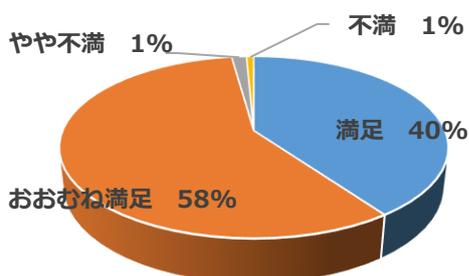


Q2

- ・一年に一度このような研修があることで、振り返る大切な機会をいただいている気がします。他の保育園や小学校の取組も参考にさせていただきありがとうございます。（保職）
- ・家庭教育学級の目的やあり方など基本的なことについて理解することができました。保護者役員の方は毎年変わりますので、このような説明は役立つと思います。（小職）
- ・子育てに悩みや不安を抱えている保護者に対して、どのようなアプローチができるかを考えていく必要があると思いました。（中職）
- ・家庭教育の必要性について分かりやすい内容でした。（小職）

- ・コロナ禍が明け、各保育園や学校がどのような取組をしているのかが分かりました。（小職）
- ・PTA の代表の方とこれからの家庭教育学級の進め方について、研修を踏まえて話げできました。今晚、実行委員会があるので早速提案しようと思います。（中職）
- ・分かりやすかったです。家庭教育のポイントとして、自己肯定感・非認知能力を高めるとありましたが、そのあたりをもう少しお聞きしたかったです。（園保）
- ・初めての役員で自分は何をすべきかよくわからなかったです。今回の研修で家庭教育学級の意義や資料がわかりやすく、何となく方向性が見えてよかったです。（中保）
- ・家庭教育学級の大切さを改めて感じました。家庭だけでなく地域、社会を巻き込んで「みんなで子育て」に取り組んでいきたいです。（団体関係者）
- ・情報交流の場があったことで、各園・各校の活動の実施状況を知ることができました。（小職）

Q3 これからの家庭教育学級を推進していく上で、本日の研修資料はいかがでしたか。



Q3

- ・今後、保護者の方に必要な時にお知らせができます。特に、QR コードから情報を入手できることを知らせたいです。（団体関係者）
- ・家庭教育について学ぶ動画を利用したいです。（園職）
- ・必要な情報（条例やプレゼン、事例、動画についての配布物など）が網羅されており、ありがとうございます。この一冊があれば全体像が見え参考になります。（小職）
- ・他校の実践やポイントが分かりやすく載っていて参考になります。PTA本部役員でも紹介したいと思います。（小職）

- ・他校の実践を拝見することができ、オリジナリティーがありそれぞれよい取組をしているなと思いました。(中保)
- ・次の日が PTA 総会だったので、一部を抜粋しコピーしたものを配布しました。(園職)
- ・「親も子ども自己肯定感を高める」「共に取り組む」ための取組や手立てがわかりやすいです。(園保)
- ・とてもわかりやすかった。データでの実態はとてもありがたかった。(行政)
- ・学校だよりなどで使わせていただきます。(小職)
- ・ちょこっと動画があることを知らなかったので、利用していきたいと思いました。(関係団体)
- ・紹介された取組に関して保護者の方と意見交換ができました。資料をもとに昨年度の内容を振り返ったりよかったことは引き続き今年度の活動に取り入れ、親子で向き合う時間が少しでも増えたらよいですね…と、保護者の方と話ができました。また、子どもたちを育てていく時間を過ごす保育士という職業にとって、保護者の方と同じ方向を向いて歩む…大切にしたいことの1つを再確認できた時間になりました。今年度、頑張りましょう!と声を合わせることができ、嬉しかったです。(園職)



#### Q4 県の情報（県 HP 情報、マニュアルや各プログラム、動画教材等）は、どのように活用できそうですか。

- ・わが家の約束実践カードを活用し、各家庭で実施できるようにしたいです。(小保)
- ・今年度、本校では学級懇談会の折に「子育てサロン型」を行う予定のため、その際に動画教材を活用したいと思います。(中職)
- ・動画教材を使って家庭でのしつけや愛情表現の仕方などを親子で共有したいです。(小職)
- ・メンバーでのミニ研修会で使えそうです。(小職)
- ・現在取り組んでいるものを家庭教育の視点でリニューアルできます。(小保)
- ・学校だよりに掲載したりPTA役員会で紹介したりしたい。PTA総会時に活用する例も参考になった。(中職)
- ・1年後の子育て未来日記、自分の中でのキーワードにしたいと思います。子どもに対し叱ったり褒めたり反省するタイミングごとに思い出して、子どもへの声掛けや自身の振り返り、実現への必要な努力は何かと悩んだりするなど、立ち止まって考える時間が少しでもできたらよいなと思います。(中保)
- ・家庭教育委員さんと連携して楽しい活動を仕組みたいです。(中職)
- ・特に、年長児は就学に向けて身の回りのこと…基本的な生活習慣の見直しなど、夏休みや冬休みの長期休暇前に手軽に見ていただくことができる動画をアプリ(コドモン)を利用し学期ごとに配信したいです。(保職)
- ・参考にできる QR コードもたくさん載せていただいたので、利用したと思います。(中保)
- ・動画を活用してみえる学校があったので、参考にしたいです。(小保)
- ・県の情報は子育てに不安をもつ家庭の安心につながると思います。(行政)



#### Q5 あなたの所属で行われている家庭教育学級について、お気づきの点があればお書きください。

- ・子どもの成長が親の成長につながるという点が印象に残りました。(小保)
- ・子どもの成長のためにも親も一緒に成長していく、変わっていくことが大切だと感じました。(小保)
- ・子育て肯定感、すてきな言葉です。(園保)
- ・乗鞍青少年交流の家の方からイベントカレンダーのお話があり、楽しそうな企画を見て園でも保護者と一緒に楽しめる企画ができれば…と意欲につながりました。(園職)
- ・「子どもの変化(成長)に気づけることの幸せ」は、ハッとさせられました。子どもの成長とともに自分自身も大切に一緒に成長していきたいと思いました。(小保)

- ・子どもをもつ親のつながりがたくさんあることを願います。家庭教育の大切さを改めて認識した。(団体関係)
- ・役員さんや保護者さんの意識が高いことに感謝しています。(園職)
- ・子育てに関する悩みの共有がもっとできるとよいと感じました。そのためにサロン型の活動ができるとよいと感じました。(小職)
- ・一方通行の講演会型、在宅取組型が多いので、サロン型を計画し対話し合えるとよいと思った。(小職)
- ・参観日の後に保護者同士の交流の時間を復活できたら良いなと思います。コロナ禍がきっかけで、保護者参加の行事が減り、親同士の横のつながりが薄くなったことに寂しさを感じています。(中保)
- ・今年の PTA 活動のテーマが「子どもと向き合い共に歩もう」という内容です。家庭教育学級の内容に沿っているので、小グループで交流するときにテーマに沿った交流ができるといいなと思いました。(中保)
- ・地域柄、小学校や中学校とも連携しやすい環境なので、地域ぐるみの取組も無理のない範囲で取り組めたらと思います。(園職)
- ・今回の研修を通して家庭での取組となる提示や呼びかけをしていく仕組みをつくっていくとよいと思いました。保護者会とも連携し、取組の企画をしていけたらと思います。(園職)
- ・家庭教育学級としての体制をどう整えられるかが本校の課題で、保護者のニーズを負担のないようにどう吸い上げるかを今後も考えていきたいと思います。(小職)
- ・学校と PTA とともに手を取り合うことが大切だと再認識できた。(小職)
- ・わが市は地域が学校に協力的で、家庭・学校・地域の連携が強くと子どもをみんなで育てていると感じます。(小職)
- ・他校の取組を聞き、学校だけでなく家庭や地域でも考え取組まれていることを知りました。すぐに実施へ向かうことは難しいと思いますが、教育長さんが話されていた、家庭でもチームをつくって…というのが取り組みやすいかなと思いました。一人で考えてしまいがちなことも、堅苦しく考えず悩み事も相談できるかなと思いました。(小保)
- ・まだまだ親子で関わることがができるんじゃないかと思いました。子育てサロンは素敵だと思います。人に話すことが一番いいと実感するからです。何かできないかと模索中です。(中保)
- ・家庭教育委員の活動目標が分かりにくいので、今日のような話や資料があると委員の活動目標がわかりやすいです。(中保)
- ・家庭教育学級についての話を日々の親さんとの会話の中に取り入れながら、簡単にできることを一緒に考えていきたいです。(園職)
- ・難しく考えるのではなく、多くの目で子どもたちを見ていくことが大切だというお話が心に残りました。(園保)



### やや不満・不満

- ・毎年ほぼ変わらない内容なので、保護者対象の研修会にしてはどうでしょう。  
毎年交代する保護者役員のための研修会では、なかなか具体的な取組につながっていかない面があるように思います。子どもたちの健やかな成長に向け、園や学校の特色や状況等をふまえ、担当者同士が手を取り合って進めていくことを大切にしたいと考えます。
- ・今日の研修を PTA 活動の何に活かせばよいかわかりません。  
自校の家庭教育（学級）に関する取組と県が示している家庭教育学級の意味や意義、5つの家庭教育学級の型を照らし合わせてみると、自園自校の取組への具体的な活かし方が見えてくると思います。

・子育ての肯定感について、もっと詳しく集中的に話をしてほしい。

時間の関係で十分に伝えきれなかったのだと思います。家庭は親子がともに成長できる場であることを大切にしていだければと思います。

・研修内容としてディスカッションにテーマを設けるなど、何かしら皆で考えることがあったらよかったと思います。

今年度は、まず、お互いの計画した内容を交流してもらおうと考えました。それは12年間を通して子どもたちの成長をふまえ、どのような（内容・型など）家庭教育学級を仕組むとよいのかを考える機会としたかったからです。今後も、よりよい交流会を検討していきたいです。

・もっと多くの実践や気をつけた方がよいことなどの紹介があると有難いと思いました。

今年度の資料には例年よりもたくさんの実践例を掲載いたしました。また、QRコードから県内の実践も見られるようにいたしました。P6に掲載したQRコードをぜひご活用ください。

・そもそも家と学校（社会）のかかわり方が違うと思うので、～できたから～やれたからよいというところが外の社会に出るとどうしてもあるが、家では存在がオッケーで良いと思うので家でまでめあてを持って活動したり振り返りしたり評価したりするのは疲れます。

家庭ではわが子の存在を丸ごと受け止めてあげてほしいと思います。その上で、将来自分らしく逞しく歩いていくためにも、自己肯定感や非認知能力を高めてあげてほしいと思います。県の「話そう！わが家の約束」運動をその目的で活用していただけるとありがたいです。

#### <アンケート回答の所属>

・園の保護者 11% ・小学校の保護者 19% ・中学校の保護者 11%  
・園の職員 15% ・小学校の職員 24% ・中学校の職員 13% ・子育てなど関係者 7%

研修会を終え、たくさんの方々から子育て・家庭教育支援また家庭教育学級について、ご意見ご感想をいただきました。今号は、アンケートの内容をたくさんの方々から読んでいただきたいと思い、少し（かなり）文字の多い通信となりました。皆さんが研修を通して考えたことや感じたことをぜひ共有してください。

皆様方からのご意見やご感想を大きくまとめてみますと、次の2点になります。



- ① 保護者の皆さんが、子育て・家庭教育についての情報・学び・つながりを得る場や機会は重要であること
- ② 県の動画教材を有効に活用し、情報を提供したり家庭教育学級を開催したりすること

家庭教育学級というツールを園や学校などの実態に合わせ、無理なく楽しく活用しながら、子どもの成長そして保護者自身の成長が実感できる取組になることを願います。ありがとうございました。



家庭教育（学級）の推進に関わり、ご質問などがありましたら、各市村の担当課また飛騨県事務所までご連絡ください。

(0577-33-1111 内線 235 飛騨県事務所 振興防災課 家庭教育推進専門職 水口)

# 岐阜県 みんなで 家庭教育！

下記の URL や二次元コードから、県内6地区の家庭教育通信をご覧になることができます。  
県内の様々な園や学校、関係諸機関や団体、家庭教育支援チーム等の活動情報をぜひとも参考に  
してください。飛騨地区にはない実践がたくさんあります！ （\* 枠内：地区名と通信名）

岐阜地区  
みんなで子育て



<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/27355.html>

西濃地区  
みんなで子育て



<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/253321.html>

中濃地区  
かてきよー



<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/17427.html>

可茂地区  
いいかも



<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/20504/>

東濃地区  
家庭教育なう



<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/20508/>

飛騨地区  
飛騨っ子



県内には、  
いろいろな実践  
があります！



<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/20509/>